

滋賀県民総スポーツの祭典滋賀県民体育大会の部
第71回滋賀県民体育大会（高校の部）
ホッケー競技

期 日	平成30年8月7日（火）		
会 場	県立伊吹運動場		
競技日程	開会式	8月7日	9：00
	競技開始		9：45～
	閉会式	8月7日	15：00
参 加 校	男子3校	（49名）	
	女子2校	（28名）	計77名

主 催 滋賀県 滋賀県教育委員会 米原市 米原市教育委員会
（財）滋賀県体育協会

主 管 滋賀県民体育大会実行委員会 滋賀県ホッケー協会
滋賀県高等学校体育連盟 滋賀県高等学校体育連盟ホッケー専門部

競技役員

競技部長 脇坂高峰

競技委員長 北川幸生

競技副委員長 椿裕規

競技委員 高森広治 平塚隆三
村井史典 水口祥規
川瀬成宏 植野貴之

審判長 高橋英行

審判員 水谷理恵 常喜浩幸
岩山幸太郎 吉田政樹
椿裕規 川瀬成宏

救護 村井史典 水口祥希

広報 南部久貴

試合日程

平成30年8月7日(火)

日	時間	対戦高校	
8 月 7 日 (火)	9:15	開 会 式	
	9:45	男	公式戦 伊 吹 — 長浜北
	11:00	女	オープン戦 伊 吹 — 彦根翔西館
	12:20	男	オープン戦 伊 吹 — 彦根翔西館
	13:40	男	オープン戦 長浜北 — 彦根翔西館
	15:00	閉 会 式	

第 71 回県民体育大会 高校の部 ホッケー競技

運 営 規 定

- 1 運営規定 本大会の運営は、本規定によって行う。
- 2 競技規定 競技規定は、社団法人日本ホッケー協会競技規則による。
- 3 試合時間 試合時間は、第1クォーター～第4クォーター各15分間とする。第1クォーターと第2クォーター、並びに第3クォーターと第4クォーターの間の休憩時間をそれぞれ3分間とする。第2クォーターと第3クォーターの間の休憩時間（ハーフタイム）を10分間とする。ノンストップ方式（PC、得点時に時間を止めない）で行う。
- 4 試合形式 トーナメント方式 試合時間が終了しても勝敗が決しないときは、ペナルティーシュートアウト（S・O戦）戦によって勝敗を決定。
- 5 時間の管理 試合の時間は、ジャッジが管理する。ただし、前・後半終了間際に与えられたペナルティーコーナーは、規定の試合時間が終了しても中止されることなく、それが完了するまで続けられ、終了した時は審判員のホイッスルを持って規定時間の終了とする。
- 6 S・O戦による決定方法 別紙参照
- 7 競技フィールドへの立ち入り
 - ① 試合に直接関与する22名の選手と2名の審判員の他は、たとえ誰であろうとも審判員の許可がない限りフィールド内に立ち入ることはできない。
 - ② 試合中、選手に怪我等が起こった場合、あらかじめ決められた2名以内の者が、当該審判員の許可を得てフィールド内に入り手当てを行うことができる。
 - ③ 各チームは、エントリーフォームに、フィールド内に立ち入る2名の者を、記載しておかなければならない。
 - ④ 飲料水の補給等は、フィールド内で行ってはならない
 - ⑤ 試合が行われていない時であっても、ジャッジの許可を得なければ、空いているフィールド内に立ち入ることはできない。
- 8 選手の交代
 - ① 選手の交代は、その試合にエントリーされていれば、随時交代することができる。ただし、ペナルティーコーナーが与えられている間は、負傷した守備側ゴールキーパーの他は誰も交代することができない。
 - ② 交代は、ジャッジ席にその意を伝えた後、ジャッジ席前のセンターライン付近で行う。
 - ③ ゴールキーパーの交代は、審判員の管理の下で、試合時間を一時停止して行われる。
- 9 その他
 - ① 試合中、審判員に対する誹謗、乱暴なプレー、スポーツマンシップにふさわしくない行為は厳に戒める。
 - ② 出場チームは、試合開始30分前までに監督署名済みのエントリーフォームを1部提出する。
 - ③ 出場チームが定刻までに参集しないときは、棄権したものとみなし相手の不戦勝とする。
 - ④ 試合開始10分前に、リングパス並びに服装・装具の点検を行う。
 - ⑤ 選手は、試合中を通じてシャツ（ブラウス）の裾をきちんと処理し、ストッキングは脛当てを覆うようにして膝下まで上げて履くこと。
 - ⑥ 各チームの選手は、正規の背番号をつけ、大会期間中は変更できない。
 - ⑦ 監督は、ベンチに在る全ての言動について全責任を負うものとし、ジャッジ席に近い側に位置しなければならない。また、選手も全員ベンチに着席していること。さらに、ベンチには、エントリーされた者以外入ることができない。ただし、当該校の登録完了しているコーチ、フィジオ、校長はこの限りではない。
 - ⑧ 選手の使用シューズについては、原則として運動靴を使用し、スパイクの使用は認めない。
 - ⑨ チームの主将は、キャプテン・マークを必ず腕につけること。
 - ⑩ リボン・ハチマキは、競技に支障のない範囲で使用してもよい。
 - ⑪ 負傷・出血したプレーヤーは直ちに退場し、止血処理・傷の手当て・洗浄が完了するまでは再出場することができない。（血のついた衣類は交換すること）
 - ⑫ 競技フィールドには、必ず2種類のユニフォームを準備しておくこと。
 - ⑬ 試合終了後両チームの監督はジャッジ席で記録用紙に署名すること。
 - ⑭ 高校生の大会においては、抗議の申し入れはできない。
 - ⑮ 競技運営上の疑義については、大会本部において決定する。

ペナルティーシュートアウト戦 実施規程

1. 両チームの5名の選手がゴールキーパー（以下GKという）と1対1のペナルティーシュートアウト（以下PSOという）を交互に行い、合計10回のPSOが行われる。監督から当該TOにあらかじめ申告された順番でPSOを行う。下記に該当する出場停止中の選手を除いた当該試合のエントリーフォームに記載されている選手の中から監督が指名する。
2. アンパイアは当該TOと相談して使用するゴールを選択する。
3. コイントスを行い、先攻か後攻を決定する。
4. 最も多くのゴールを決めたチームが勝者となる。PSO戦は勝敗が明らかになった時点で終了する。
5. PSO戦実施中は、エントリーフォームに記載されたすべての者とベンチに入ることが認められている者は、使用する23mエリア外のフィールド内に入ることができる。アンパイアの指示があれば、攻撃側チームのGKは、サークル外のゴールラインで待機しても良い。PSOを行う選手と守備するGKだけが当該23mエリアに立ち入ることができる。
6. TDによって出場停止中の選手や当該試合中にレッドカードによる退場処分となった選手は、PSO戦に参加することができない。
7. PSOは下記のとおり実施する。
 - i 守備側GKは、ゴールポストの間のゴールライン上に位置する。
 - ii 当該23mライン上の中心にボールを置く。
 - iii 攻撃側選手はボール近くの23mラインの後ろに位置する。
 - iv アンパイアはPSO開始の合図の笛を吹く。その後は攻撃側選手とGKは、どの方向に動いても良い。
 - v PSOは次の項目のどれかに該当したときに終了する。
 - ・8秒が経過したとき。
 - ・ゴールとなったとき。
 - ・攻撃側選手が反則したとき。
 - ・GKが反則したときは、再度PSOが行われる。
 - ・GKが故意の反則をしたときは、PSが与えられる。
 - ・ボールがバックラインやサイドラインの外に出たとき。PSOにおいては、GKがボールを故意にバックラインから外に出す行為は許される。
8. PSO戦実施中に、攻撃側選手またはGKが退場となった場合は、その選手はその後PSO戦に参加することはできず、守備するGK以外は交代もできない。もし守備するGKが退場となった場合は、PSO戦の攻撃側選手として申告されている5名の中からのみGKとして交代できる。その際は防具を装着するための適切な時間が与えられる。攻撃選手が退場となった場合は、その後の当該選手PSOはノーゴールとなる。
9. PSO戦実施中に、守備GKがプレー不能となった場合は、当該試合のエントリーフォームに記載されている選手の中から交代できる。ただし、上記6. および8. に該当する参加不可能な選手を除く。もし、交代する選手がフィールド選手の場合は、防具を装着するための適切な時間が与えられる。
10. 両チーム5名の選手のPSOが終了した時点で、ゴール数が同数の場合は、同じ選手（プレー不能なGKは交代できる）による第2シリーズのPSO戦が行われる。第2シリーズ以降は、両チームが同じ回数のPSOを終えたとき、一方のチームのゴール数が相手チームを1多かったならば、そのチームが勝者となる。（PSOの実施回数の制限はない）
11. 第2シリーズも同じ選手で実施されるが、プレー不能なGKは交代できる。攻撃選手の実施順序は、第1シリーズと同じでなくてよい。PSOを行う時に監督は順番を決めることができる。第2シリーズ以降では5名の選手全員がPSOを行うまで、同じ選手を再度指名できない。
12. 第1シリーズで先攻のチームは、第2シリーズ以降では後攻となる。

実施手順（競技役員用）

1. トスを行い、先攻後攻を決定する。
2. プレー順の申告を受ける。
3. **GK**の待機場所はサークル外のバックライン上でも良いことを伝える。（オプション）
4. メイン審判員は、2名がよく見える場所に位置する。サブ審判員は、**PS**時と同じゴール右側のバックライン上付近に位置する。
 - ・メイン審判員は、通常のフィールドプレーと同じような位置取りがベター。サブ審判員は、ゴールラインを割ったかどうかの判定と攻撃選手、**GK**の反則の判定補助を主に行う。
5. ジャッジは、23mライン中央付近に位置し、8秒間の計測の用意をする。
 - ・8秒経過時点で笛を鳴らす。
6. 2名の選手が所定の位置について、準備ができていることを確認する。
7. メイン審判員は、サブ、ジャッジとアイコンタクトで準備ができていることを確認し、プレー開始の笛を吹く。
8. メイン審判員は、ゴール、認定ゴール、ノーゴール、反則等の判定およびゼスチャーを明確に行う。

留意事項

- ・ 8秒時点でゴールを割ったかどうか微妙な状況が想定され、サブ審判員は、その点にも留意しなければならない。
- ・ 8秒計測者はプレーを見てはならない。
- ・ 故意の**GK**の反則は**PS**とする。（通常プレーなら**PS**となるケース）
- ・ 故意でない**GK**の反則はアゲイン。判定しようとしたが、8秒終了の合図より遅れた場合は通常時と同様で終了となる。
- ・ **GK**はバックラインから外にボールを故意に出すことが可能。（通常プレーなら**PC**となるケース）
- ・ **GK**がブラインドになる可能性もあり、必要に応じて協議することも視野に入れる。
- ・ サジェスションアンパイアは置かない。

県内各種大会優勝一覽

		春季		秋季		県体	
回	年	男子	女子	男子	女子	男子	女子
19	1976	長浜北	*	彦根工業	*	米原	長浜北
20	1977	長浜北	長浜北	長浜北	長浜北	長浜北	長浜北
21	1978	長浜北	日野	長浜北	長浜北	*	*
22	1979	長浜北	長浜北	彦根工業	日野	*	*
23	1980	彦根工業	日野	長浜北	日野	*	*
24	1981	長浜北	長浜北	長浜北	長浜北	*	*
25	1982	彦根工業	長浜北	彦根工業	日野	彦根工業	長浜北
26	1983	長浜北	長浜北	長浜北	伊吹	伊吹	伊吹
27	1984	伊吹	長浜北	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
28	1985	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
29	1986	伊吹	伊吹	彦根工業	伊吹	伊吹	伊吹
30	1987	伊吹	伊吹	伊吹	*	伊吹	伊吹
31	1988	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
32	1989	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
33	1990	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
34	1991	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
35	1992	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
36	1993	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
37	1994	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
38	1995	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
39	1996	伊吹	伊吹	伊吹	米原	伊吹	伊吹
40	1997	伊吹	米原	伊吹	米原	伊吹	伊吹
41	1998	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
42	1999	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
43	2000	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
44	2001	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
45	2002	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
46	2003	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
47	2004	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
48	2005	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
49	2006	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
50	2007	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
51	2008	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹
52	2009	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	伊吹	*
53	2010	伊吹	伊吹	伊吹	*	伊吹	*
54	2011	伊吹	*	伊吹	*	伊吹	*
55	2012	伊吹	伊吹	伊吹	*	伊吹	*
56	2013	伊吹	*	伊吹	*	伊吹	*
57	2014	伊吹	*	伊吹	*	伊吹	*
58	2015	伊吹	*	伊吹	*	伊吹	*
59	2016	伊吹	*	伊吹	*	伊吹	*
60	2017	伊吹	*	伊吹	*	伊吹	*
60	2017	伊吹	*				